



## 令和8年度 尚絅大学・尚絅大学短期大学部入試日程

総合型選抜(第4回・自己推薦型)・社会人選抜(第3回)選考日程

区分	実施学部・学科	出願期間	選考日	合格発表	入学手續期限
総合型選抜(第4回・自己推薦型)	現代文化学部・生活科学部・こども教育学部	令和8年2月16日(月)～3月2日(月)	3月7日(土)	3月13日(金)	3月27日(金)
社会人選抜(第3回)	短期大学部(食物栄養学科／幼児教育学科)				

※こども教育学部・短期大学部幼児教育学科は武蔵ヶ丘キャンパスで実施

## 一般選抜選考日程

区分	実施学部・学科	出願期間	選考日	合格発表	入学手續期限	
					入学金	書類
<第1回>※地方会場あり 【福岡市・鹿児島市・宮崎市】	現代文化学部・生活科学部・こども教育学部	令和8年1月19日(月)～1月30日(金)	2月7日(土)	2月16日(月)	2月27日(金)	
<第2回>	短期大学部(食物栄養学科／幼児教育学科)	令和8年2月16日(月)～2月24日(火)	2月28日(土)	3月6日(金)	3月13日(金)	3月19日(木)
<第3回> 総合問題(小論文含む)	現代文化学部・生活科学部 短期大学部(食物栄養学科／幼児教育学科) ※こども教育学部は実施なし	令和8年3月9日(月)～3月13日(金)	3月18日(水)	3月24日(火)	3月30日(月)	

## 大学入学共通テスト利用型選抜選考日程

区分	実施学部・学科	出願期間	選考日	合格発表	入学手續期限	
					入学金	書類
<第1回>	現代文化学部・生活科学部・こども教育学部	令和8年1月19日(月)～1月30日(金)	2月16日(月)	2月27日(金)		
<第2回>	短期大学部(食物栄養学科／幼児教育学科)	令和8年2月16日(月)～2月24日(火)	3月6日(金)	3月13日(金)	3月19日(木)	
<第3回>		令和8年3月9日(月)～3月13日(金)	3月24日(火)	3月30日(月)		

## 編入学選抜選考日程

実施学部	出願期間	選考日	合格発表	入学手續期限	
				入学金	書類
現代文化学部<第1回> 生活科学部<第2回>	令和8年1月19日(月)～1月30日(金)	2月7日(土)	2月16日(月)	2月27日(金)	
現代文化学部<第2回>	令和8年2月16日(月)～2月24日(火)	2月28日(土)	3月6日(金)	3月13日(金)	3月19日(木)
現代文化学部<第3回> 生活科学部<第3回> こども教育学部<第2回>	令和8年3月9日(月)～3月13日(金)	3月18日(水)	3月24日(火)	3月30日(月)	

※こども教育学部は武蔵ヶ丘キャンパスで実施

## 大学・短期大学部オープンキャンパス 開催日 令和8年3月20日(金・祝)

対象 高校生および受験希望者とその保護者

実施場所 九品寺キャンパス

時間 [学部・学科プログラム] 10:00～(予定)

実施場所 武蔵ヶ丘キャンパス

[個別相談会(希望者)] 12:30～(予定)

申込 事前予約制 申込方法 本学ホームページ

※申込締切後に参加をご希望の場合は、入試課(TEL:096-273-6300)までご連絡ください。 ※九品寺キャンパスにおいては、学内の駐車ができません。公共交通機関等をご利用ください。



【お問い合わせ先】 入試課 TEL.096-273-6300 FAX.096-273-6781 E-mail: nyushi@shokei-gakuen.ac.jp

## 令和8年度 尚絅高等学校・尚絅中学校入試日程

## 尚絅高等学校

募集人員【特別進学コース】30名  
【総合進学コース】290名

入試区分	WEB情報入力期間	出願期間	選考日	合格発表
特待生(専願・併願)／専願生／特技特待生(専願)	令和7年12月1日(月)～令和8年1月13日(火)	令和8年1月8日(木)～1月14日(水)	1月21日(水)	1月26日(月)
一般生	令和7年12月1日(月)～令和8年2月6日(金)	令和8年2月4日(水)～2月9日(月)	2月12日(木)	2月16日(月)

## 尚絅中学校

募集人員/80名

入試区分	出願期間	選考日	合格発表
第2回 特待生(専願・併願)／専願生／一般生	令和7年12月10日(水)～令和8年1月13日(火)	1月17日(土)	1月20日(火)
第3回 特待生(専願)／専願生	令和8年1月22日(木)～2月5日(木)	2月8日(日)	2月10日(火)

【お問い合わせ先】 中高事務室 TEL.096-366-0295 FAX.096-372-8341 E-mail: jhjmu@shokei-gakuen.ac.jp

## 後塞

駆け抜けた一年、言葉の重みと向き合い続け、積み重ねた日々が確かに軌跡となっていく。届けたい想い、願いを束ね、人々へ発信する私の仕事は誇らしい。今日もまた、未来に続く言葉を紡いでいく。  
(K.N)○皆様のご意見・ご感想をお寄せください。 編集・発行/尚絅学園 編集スタッフ/久野恭義、水政行弘、新納ゆりか、倉寄真優、古澤千鶴、西村奏美、有働碧依、藏原信博  
〒862-8678 熊本中央区九品寺2丁目6-78 TEL.096-364-0116 FAX.096-363-6520 メールアドレス koho@shokei-gakuen.ac.jp尚絅大学 尚絅大学短期大学部  
尚絅高等学校 尚絅中学校(中高一貫)  
幼保連携認定こども園  
尚絅大学附属こども園尚絅大学・尚絅大学  
短期大学部  
ホームページ  
尚絅中学校・  
尚絅高等学校  
ホームページ基礎  
ISHIZUE

## 尚絅学園広報誌

2025年秋冬号  
Vol. 44尚絅学園キャラクター  
「花くま」

## Vol.44 CONTENTS

尚絅大学 尚絅大学短期大学部	P1 - P2
尚絅中学校 尚絅高等学校	P3 - P4
尚絅大学附属こども園	P5
寄附者芳名録／古本募金／同窓会だより	P6
入試日程／INFORMATION	裏表紙



# 尚絅大学 尚絅大学短期大学部

## 尚絅祭開催

### 九品寺キャンパス

令和7年7月12日(土)、13日(日)に九品寺キャンパスにて「爽涼祭」のテーマのもと、尚絅祭を開催しました。例年、11月に開催しておりましたが、今年は初めての夏開催に加え、オープンキャンパス、尚絅中学・高等学校の文化祭も同日開催となりました。

1日目は、模擬店他、かき氷早食い大会や浴衣美人コンテストなど、夏ならではの楽しいイベントを実施しました。2日目は、軽音楽部、ダンスサークルによるステージ発表とお笑い芸人「ママタルト」さんによるライブもあり、大盛況の2日間となりました。



浴衣美人コンテスト



ステージ発表

### 武蔵ヶ丘キャンパス

令和7年11月15日(土)、16日(日)に「第72回 尚絅祭～Bloom～」を開催しました。

今年のテーマは～Bloom～。こどもたちの笑顔をきっかけに、学生や地域の方々、教職員にも笑顔の花を咲かせたいという思いを込めました。

1日目は体育館でバケラッタとアイドルライブが行われました。バケラッタとは新聞紙や広告誌などを素材にして衣装を作り出して披露するファッショショードです。2日目は中庭に模擬店が出店され、屋外ステージでは、ステージ発表、SGC(尚絅ガールズコレクション)、お笑い芸人「アイロンヘッド」さんのライブがありました。体育館ではちびっ子ランドを設営し、笑顔が溢れる学園祭となりました。



バケラッタ



ステージ発表

## 令和7年度 尚絅公開講座開講

令和7年10月18日(土)、25日(土)、11月1日(土)の3日間にわたり、尚絅公開講座を開講しました。地球上の生命の歴史から現代社会を見つめ直すという思いを込めた「38億年の命～激動の時代を生きる～」をテーマに、食・教育・人間関係・AI・歴史など私たちの暮らしに深く関わる全9講座を開講しました。卒業生や地域の方々に受講していただき、大盛況のうちに終了しました。



### 尚絅公開講座

主食で栄養状態を維持することは可能か?
～高齢者の低栄養や勤労者の多忙な生活を○○が救う！？～
短期大学部 食物栄養学科 准教授 本田 順子
児童福祉の歴史から考える「家族」のありかた
～20世紀転換期イギリスを中心にな～
短期大学部 幼児教育学科 講師 草野 舞
AIとの共創による未来～急速な情報技術進化と生活～
短期大学部 総合生活学科 准教授 牧岡 毅
未来につなぐ！くまもとの郷土料理の価値
生活科学部 准教授 寺本 ミユキ
今、世界から注目される日本式教育～日本式教育の光と影～
生活科学部 教授 平野 修
交流分析と良好なコミュニケーションについて
こども教育学部 准教授 古川 隆幸
もっと知りたい！どう違う？日韓の幼児教育
こども教育学部 教授 鄭 英美
歴史が英語に与えたもの
現代文化学部 教授 竹下 裕俊
データサイエンスで見るアイドルの脱退インパクト
現代文化学部 教授 畠山 真一

## 令和7年度 夏季キャリアガイダンス

令和7年9月26日(金)に九品寺キャンパスにおいて夏季キャリアガイダンスを開催しました。

大学3年生と短大部1年生向けに実践を踏まえた就職活動準備講座として「模擬面接講座」「SPI対策講座」「キャリア講演」を実施しました。さらに、大学1・2年生向けに「学長講話」「金融リテラシー講座」「旅館若女将による地域創生講話」を実施し、早期からのキャリア形成に対する意識や就職活動に対する意識の醸成を強化しました。また、「WEB合同企業説明会」として、全学年を対象に企業研究が常時視聴できるようにオンデマンド形式の配信も行っています。



## 第10回 ホームカミングデイ開催

### 九品寺キャンパス

令和7年7月13日(日)に「第10回ホームカミングデイ(九品寺キャンパス)」を開催しました。今年度のホームカミングデイでは、特別講演として林田俊一郎氏(本学名譽教授)をお迎えし、「書を楽しむ」をテーマに、書道に関するご講演を頂きました。書くことの楽しさや文字を通して心を表現する喜びについて語られました。先生の作品を例として挙げながら、書の種類や墨・硯などについてお話しいただきました。



### 武蔵ヶ丘キャンパス

令和7年11月16日(日)に「第10回ホームカミングデイ(武蔵ヶ丘キャンパス)」を開催しました。今年度は、牛島梨紗氏(幼児教育学科卒業生)による「フルート演奏会」を行いました。多くの卒業生の方々がお越しになり、演奏会後は思い出話に花が咲き、あっという間のひと時でした。



## 生活科学部

### 第2回食と科学のお祭り広場を開催しました。

令和7年10月26日(日)に、地域の小中学生や一般の方を対象として、生活科学部で「第2回食と科学のお祭り広場」を実施しました。尚絅大学の学びを広く知っていただくために、食の楽しさや健康への関心、食と科学の関係などを学ぶことのできる各種ブースを設けて、「開かれた大学」として地域住民の皆様との交流を行いました。

第2回として昨年度に引き続き実施され、参加者は240名と多くの方々に楽しんで参加いただきました。来場者からは「小さい子どもがいたのですが、すごく親切にしてくださりありがとうございました」「対応がとても丁寧で、大学受験に向けてのモチベーションになった」と好意的な感想をいただきました。また、イベントの様子については、RKK熊本放送による取材も行われました。

本学部学生は、調理したお菓子や食品などの提供や、来場者の方々との積極的な交流を通じて、就職後の活動へつながる豊かな経験を得ることができました。



### 『城下町くまもと七夕まつり2025』でブースを出展

令和7年7月5日(土)、6日(日)の2日間、下通のアーケード街で「城下町くまもと七夕まつり」が開催され、生活科学部1年生がブースを出展しました。

当日は、人工イクラなどで知られる多糖類のゲル化反応を利用した、体験型ブース「つくろうカラフルぶにぶミニボール」を出展。果たして参加者がいるのだろうかという心配をよそに参加者500名を超える大人気ブースとなりました。梅雨明け直後の暑い2日間でしたが、シフトを組み、生活科学部1年生のほぼ全員が参加しました。また、折しもその週末は街中の大型ビジョンで尚絅大学のCMが流れ、商店街に並べられた机で学生達が子ども達の作品作りをサポートする様子は大学PRの絶好の機会となりました。

4月に入学したばかりの1年生でしたが、「なぜボールができるのか」を説明したり、参加者からのさまざまな質問に答えることで大学での学びを深めるとともに互いに協力することでクラス内の絆も深まりました。



## 幼稚教育学科

### 第38回サマーセミナーを開催しました。

令和7年8月2日(土)にリカレント教育の一環として、幼稚教育学科の第38回サマーセミナーを開催しました。幼稚園・保育所・認定こども園・地域型保育事業所・施設等で働く保育者の方々を対象として、保育の学びを深め、日々の保育の悩みを解消し、保育がさらに楽しくなるような講座を開講しました。今年度は、①子どもの運動遊び②ウクレレ伴奏法③アートで遊ぼう！④貧困・差別に立ち向かう保育実践の方法の4講座を開催。どの講座もとても熱心に受講してくださいました。懐かしい卒業生にも会うことができました。



## 尚絅子育て研究センター

### 第24回公開シンポジウムを開催しました。

尚絅子育て研究センターでは、保育の様々な課題に対する理解を深めていただくことを目的として、保育現場の先生方や子育てに関心のある皆様に向けて、学びの機会を提供しています。その一つとして、令和7年8月2日(土)に、第24回公開シンポジウムを開催しました。テーマは「子どもの貧困と保育」です。

まず、朝日新聞記者の中塚氏から、「くらしを背負ってやってくる子どもたち～子どもの背後にある家庭の貧困～」と題してご講演を頂きました。続いて、保育アドバイザーの平田先生から、くらしを背負ってやってくる子どもを中心に据えた保育実践について話がありました。そして、本学幼稚教育学科の増淵教授のコーディネートの下、「貧困や差別に立ち向かう保育」について対談が行われました。

子どもをどこから見るとかによつて見え方は違うこと、園は子どもたちが最初に出会う社会であること、子どもをどのように捉えるのか、どういう社会を作っていくのか、保育ができるることは何であるのか等について、一人ひとりが深く考える機会となりました。



## 尚絅食育研究センター

### 「第12回尚絅ガールズ 豚肉レシピコンテスト」上位4点を学食で提供！

今年度の学食レシピコンテストには、生活科学部、短期大学部食物栄養学科・総合生活学科から、186点の応募がありました。その中でグランプリ・優秀賞を受賞した上位4点を、JA熊本経済連様にご協力いただき、熊本のブランド肉(りんどうポーク)を使って、学食で提供しました。うまいみたっぷりの豚肉に学生たちの斬新なアイデアが加わり、どの料理も大変好評でした。

この事業は、尚絅大学及び尚絅大学短期大学部同窓会のご支援をいただいて実施しました。





# 尚絅中学校 尚絅高等学校

## 尚絅文化祭～千紫万紅～開催

令和7年7月11日(金)、12日(土)に中高合同で尚絅文化祭を開催しました。

1日目はステージ発表、2日目は各クラスの模擬店出店で、今年は尚絅大学・尚絅大学短期大学部との同日開催でした。1日目のステージ発表では、文化系部活動や個人による演技や演奏が披露され、部活動生の出演に会場から大きな拍手が送られました。また、中高2号館のオープンスペースや図書館には、書道や華道の作品、全校生徒と教職員で作り上げたパネルなど、作品展示も充実しており、見どころがたくさんありました。2日目は各クラスの教室で趣向を凝らした装飾が見られ、遊技場やグッズ販売を楽しむ生徒たちの笑顔や笑い声で学校中がとても賑やかでした。

生徒会が中心となり、話し合いを重ねて企画された今回の文化祭、準備から片付けまで各クラスで協力し取り組みました。



## 笑顔の花咲く体育祭



令和7年9月26日(金)に熊本県民総合運動公園パークドーム熊本にて「令和7年度 尚絅体育祭」を開催しました。今年のテーマは、「勝敗笑美戦～ビジュなんて氣にするな!やったれ女子校☆～」。勝っても負けても笑顔で全力で戦おうという生徒会の想いが込められたものでした。テーマのとおり、生徒たちは競技やダンス、応援に一生懸命に取り組み、笑顔の花を咲かせていました。特に各学年のダンスは今までの練習の成果が十二分に発揮され、大変盛り上りました。

ご観覧の保護者の方々からも、たくさんのお応援をいただき、盛況のうちに体育祭を終えることができました。

## 探究学習：「マチノガッコウ」プロジェクト 尚絅高校生の企画に小学生が参加

令和7年9月23日(火・祝)、昨年度に引き続き、探究学習の一環として「マチノガッコウ2025」プロジェクトに高校2年生2名、高校1年生5名が参加しました。

今回は、本校生徒が立案した「上通りの昔と今を比較しながら歩く」という企画に、小学生12名が参加してくれました。参加した小学生の皆さんには探偵になったつもりで、生徒が考えた謎を解き明かしてもらいました。楽しんでくれている姿を見て、生徒たちは達成感とともに良い経験を積むことができました。



## バレーボール部: 上天草市災害ボランティア



令和7年8月10日(日)からの大雨により大きな被害を受けた上天草市へ、バレーボール部員23名と保護者を含めた約60名が災害ボランティア活動に参加しました。今回の活動は、上天草市で県外チームと合宿を行う予定があったことなど、様々なご縁があり、実施しました。

ボランティアの当日は朝から約6時間、地域の公民館清掃や高齢者宅の荷物運び出し、ゴミの搬出などに取り組みました。地域の皆さまからは温かい感謝の言葉や多くの差し入れをいただきました。また、上天草市長も現場を訪れてくださいました。



## 国際交流

### ～アメリカ、デンバーからの高校生たちが日本文化を体験～

令和7年6月25日(水)、アメリカのデンバーからの高校生12名の訪問団を受け入れ、5~7時間目に交流を行いました。5時間目の書道室での書道体験では、本校書道部の生徒たちが筆の持ち方、置き方などを教えながら、ひらがなだけでなく「夢」「平和」などの漢字にも挑戦し、日本の文化を体験してもらいました。6時間目は、武道場での剣道体験でした。剣道部による型の披露、模擬練習試合の見学後、剣道部を相手に実際に竹刀を持ってもらい、面や胴を打つ体験をしてもらいました。初めは遠慮がちだったアメリカの高校生たちでしたが、次第に思いっきり竹刀を振る生徒もあり、大いに盛り上りました。7時間目は、図書館でESS部とボードゲームを使い英語で交流を行いました。



### ～10日間のニュージーランド語学研修～

希望者13名の中高生が夏休み期間中に、ニュージーランド語学研修に参加しました。令和7年8月15日(金)に福岡空港を出発し、中継地のシンガポールではマーライオン公園など主要な観光地を巡りながら先進的な都市開発や多文化理解を深め、8月16日(土)から23日(土)までニュージーランドでホームステイを体験しました。現地の学校では、午前中に英語の授業を受け、午後は地元の高校生たちと一緒に各自の時間割で授業を受けました。英語力の向上に加え、自立心やコミュニケーション力も育まれ、将来の視野を広げる貴重な体験となりました。

## 第23回尚絅英語暗唱大会

令和7年9月6日(土)、尚絅大学1号館10階ホール(尚絅学園九品寺キャンパス)において「第23回尚絅英語暗唱大会」を開催しました。午前の「小学生の部」では30名、午後の「中学生の部」では15名の出場者がそれぞれに入賞を目指し、日々の練習の成果を披露しました。一人ひとりがこれまで一生懸命に練習に取り組んできた様子が伝わる、すばらしい発表ばかりでした。



## 留学生紹介



令和7年5月に留学生として、中高一貫コース高校1年生に韓国出身の浅井優菜さん(写真左:令和8年3月まで)、令和7年9月に特別進学コース高校1年生にドイツ出身のザラ・ボックさん(写真右:令和8年6月まで)が尚絅での学校生活をスタートさせました。9月に行われた体育祭にも参加し、ダンスやリレーなど、クラスメイトとともに初めての学校行事を楽しんでいました。たくさんの思い出を尚絅で作ってほしいと思います。



# 尚絅大学附属こども園

## 夏の夜の森の遊び

令和7年7月30日(水)夜の8時に年長さんとその保護者、家族、親戚など約200人の方が虫取り網や虫かごなどを持って園の玄関前に集まりました。

夏の恒例行事「夏の夜の森の遊び」の始まりです。これは本園に隣接する通称「たぬきの森」や園庭、大学の芝生広場などを散策しながら虫探しを家族で楽しんでもらう行事です。日本で有数の自然環境が特色でもある本園だからこそ実施できる行事です。およそ1時間の活動でしたが、カブトムシやクワガタを見つけて喜ぶ園児がたくさんいました。親子で夜の園を歩き、虫を捕ったこの体験は、特別な思い出として園児の心に残ることでしょう。



## 運動会

令和7年10月11日(土)に第57回運動会を開催しました。9月から練習を始めましたが、今年は残暑が厳しく、熱中症警戒アラートとにらめっこしながら毎日でした。暑さ指数が高い日には練習を中止にしたり、冷房の入った遊戯室に移動したりと思ったような練習ができませんでした。練習ができない時にはクラスでの話し合いや、練習の映像を見ての振り返りを行いました。

運動会当日は練習日以上に暑い一日でした。そこで開会式を30分早めるほか、挨拶を縮めたり閉会式をテント内で行うなど暑さ対策を行った上で実施しました。

当日は、ご両親、祖父母等、たくさんの方々にご来場いただきました。参加した年少組・年中組・年長組の約230名の園児達は、元気いっぱいに練習の成果を披露し、保護者のみなさまも笑顔で応援してくださいました。おかげさまで、すべてのプログラムを実施することができました。

## 動物園遠足

令和7年10月22日(水)、年中組が熊本市動植物園に行きました。

木の上の葉っぱを食べるキリンの姿を見る事ができ、ライオンのコーナーでは「ガオーッ」と吠える姿を見ることができました。カンガルーのコーナーでは2頭のカンガルーが後ろ足でけり合いをするなど、いつも引率している先生たちからも「あんなに生き生きとした動物が見られるなんて」と驚きの声が聞かれました。ただ、へビが他県の動物園に引っ越ししており、園児たちは少し残念そうでした。またツキノワグマを見ている様子が今までと違い少しおびえた表情でした。クマが街中に出没して人を襲うというニュースが影響しているのでしょうか。



## 芋ほり遠足

例年、カントリーパークと契約して「芋苗植え」と「芋ほり」を行っています。

令和7年10月30日(木)に年長組、11月6日(木)に年中組の園児達が「芋ほり」に出かけました。

今年は猛暑の影響か、例年に比べて収穫量は少なめで小さいもののが多かったようです。それでもさまざまな形の芋をたくさん掘ることができました。掘り終えた後は、お待ちかねのお弁当の時間です。おにぎり弁当の味も格別だったことでしょう。食後は「はないちもんめ」や鬼ごっこを楽しみ、ハロウィンの人形に飾られた通路を通って帰路につきました。

収穫した芋は持ち帰ってご家庭で味わっていただき、園では12月に「焼き芋会」を行いました。本園独特の「焼き芋会」は、園児達が森で集めた「クヌギの落ち葉」のみを使って園庭でじっくり焼き、みんなでいただきます。おいしいですよ！



## 寄附者芳名録／同窓会だより

「尚絅学園みらい募金」～奨学資金および教育研究振興の充実のための募金～の報告とお願い

### 寄附者芳名録

令和7年5月1日～令和7年10月31日現在

ご寄附をいただきました方々のご協力に感謝し、ご芳名を掲載させていただきます。

寄付金内訳		
個人・法人・企業等 1件 / ¥1,500,000	現役 役員・教職員 1件 / ¥3,000,000	合計 2件 / ¥4,500,000

現役役員・教職員・個人・法人等 (順不同)
(株)尚絅サポートセンター様 山縣 ゆり子様

## 「尚絅学園古本募金」

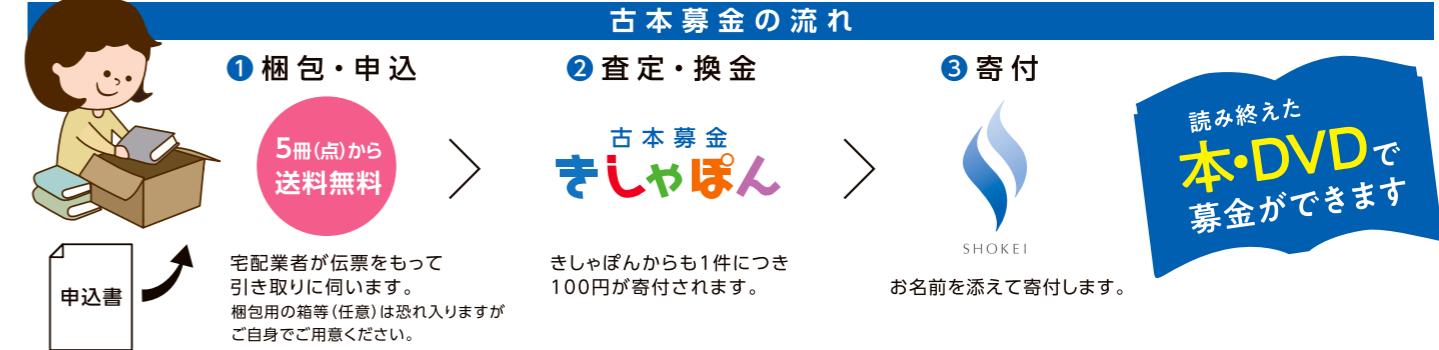
「尚絅学園古本募金」は、取引集荷・査定換金・募金送金の運営を「古本基金きしゃぽん」(運営:嵯峨野株式会社)に委託して実施しています。皆様からのご支援をお待ちしております。

尚絅学園古本募金状況について 令和7年5月1日～令和7年10月31日現在

ご寄附をいただきました方々のご協力に感謝し、寄付金状況をご報告させていただきます。

寄付金内訳		
個人・法人・企業等 1件 / ¥100	現役 役員・教職員 1件 / ¥369	合計 2件 / ¥469

### 古本募金の流れ



〈WEBで申込む〉 尚絅学園 古本募金

Kishapon.com/shokei-gakuen/ (受付)24時間・365日

〈電話で申込む〉 0120-29-7000

オペレーターに団体ID [172]とお伝えください。(受付)9時～18時・365日

## 同窓会だより

### 尚絅学園花桜会

#### 〈尚絅学園花桜会活動〉

皆様におかれましてはご健勝にお過ごしの事と慶び申し上げます。

本年度もご来賓の皆様を含め229名のご参加をいただき令和7年10月24日(金)に「花桜会総会並びに懇親会」を熊本ホテルキャッスルにて開催できました事うれしく思っています。本部より会務報告、祝舞、催事として尚絅中学高等学校マンドリン部とOGそして賛助の方のご協力を頂き、尚絅生として思い出深い曲、「御製」「御下賜御歌」「校歌」他を演奏、マンドリンの優しい音色に皆様楽しんでいただきました。熊本市支部では昭和39年卒業の傘寿を迎えた皆様へお祝いとして西崎緑洞(S63卒)様の日本舞踊を舞って頂きました。懇親会は、はなしのぶ部会(S52卒)が担当し、花桜会アンクロン部・コーラス部・河上妙子様(S32)の独唱・昭和52年卒の皆様による「秋桜」の歌の披露があり、食事をいただきながら和やかに会を終えることができました。

短期大学部では、少子化等の影響で令和8年度から「総合生活学科」(前身一家政科)の学生募集が停止され、新規入会者の減少を大変寂しく思っております。しかし、同窓会の活動はこれまで同様、会員相互の交流を図り、母校の発展につく活動を進めてまいりますので、今後ともご支援ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

同窓会の各種活動に多くの方々に参加をお待ちいたしております。

同窓生の皆様におかれましては、ご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、同窓会では総会を令和7年6月6日(金)にKKRホテル熊本で開催し、決算・計画・予算ともに承認をいたしました。7月の尚絅祭でのホームカミングデーにはカフェ[さくらガフ]を出店し、在校生、卒業生はじめ諸先生方、一般のお客様にも「尚絅の今」をご覧いただけたと思います。

今後は、同窓会創立50周年に向けてクラス役員の皆様と共に会員名簿の整理を進めて行きます。今後とも、ご理解ご協力をお願いします。

会員の皆様のご健康とご多幸を祈念すると共に、情報交換の場となりますよう活動して参ります。



ホームページ開設

<http://shokei-kaokai.com>

花桜会 検索

花桜会本部事務局  
TEL・FAX.096-372-3400

### 短期大学部同窓会

#### 〈短期大学部同窓会活動〉

同窓生の皆様におかれましてはご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、同窓会では総会を令和7年6月6日(金)にKKRホテル熊本で開催し、決算・計画・予算ともに承認をいたしました。

総会後の懇親会では理事長、学長、花桜会会長、歴代同窓会長にも参加いただき、ハンドフルートの演奏もあり、終始和やかな会になりました。

短期大学部では、少子化等の影響で令和8年度から「総合生活学科」(前身一家政科)の学生募集が停止され、新規入会者の減少を大変寂しく思っております。しかし、同窓会の活動はこれまで同様、会員相互の交流を図り、母校の発展につく活動を進めてまいりますので、今後ともご支援ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

同窓会の各種活動に多くの方々に参加をお待ちいたしております。



ホームページ開設

<https://尚絅短大部同窓会.com>

尚絅短大部同窓会.com 検索

尚絅大学短期大学部同窓会  
TEL.090-5813-6688

### 大学同窓会

#### 〈大学同窓会活動〉

同窓生の皆様、平素より同窓会活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

今年は令和7年6月28日(土)に、同窓会総会と懇親会(華甲:60歳を祝う会)を開催しました。また会報誌[花ざくら]も発行することが出来ました。7月の尚絅祭でのホームカミングデーにはカフェ[さくらガフ]を出店し、在校生、卒業生はじめ諸先生方、一般のお客様にも「尚絅の今」をご覧いただけたと思います。

今後は、同窓会創立50周年に向けてクラス役員の皆様と共に会員名簿の整理を進めて行きます。今後とも、ご理解ご協力をお願いします。

会員の皆様のご健康とご多幸を祈念すると共に、情報交換の場となりますよう活動して参ります。



ホームページ開設

<http://shokei-dosokai.com/>

尚絅大学同窓会 検索

尚絅大学同窓会  
TEL.080-4315-0804(清水)